



南中だより

平成27年 1月15日
東久留米市立 南中学校
校長 川上 智

成人の日に思う ～ 大人に向かう南中の子供たちへ ～

成人の日、ある新聞の社説に「新入社員を対象に、日本生産性本部が実施しているアンケートでは、働く目的として（中略）「社会のために役立ちたい」との回答が増えているのは心強い。」という一節がありました。また、同じ新聞のある企業広告の一節に、次のような言葉がありました。「真の大人というものは己だけのために生きない人だ。誰かのためにベストをつくす人だ。金や出世のためだけに生きない、卑しくない人だ。品性のある人こそが、真の大人なんだ。」

以下は、実業家、稲盛和夫の言葉です。この企業広告の一節に通ずるものがあります。

「自分の利益しか考えない人が多すぎます。しかし、自分本位の人にビジネスの好機が訪れることは、まずありません。店の主人に利益を与え、よろこばせるだけのために、その店に買いものに行くお客はいないのです。優れた企業を経営できる人は、お客様により多くの利益をもたらすことができる人です。このような姿勢で経営のできる人は、自分の会社にも、より多くのビジネスをもたらし、利益を呼び込むことができるのです。」

友達を助け、友達の力になるような関係をもてる子供ほど、他者との関係の中で自分の存在を実感することができるため、自尊感情が高いと言われていています。自尊感情は、自己に対する評価感情で、自分自身を価値あるものとする気持ちのことです。自尊感情が高い傾向にある子供には、学習意欲が高い、友人関係が良好、課外活動に積極的、進路の目標が明確などの様子が見られます。

私利私欲を捨て、世のため人のためにとすることができる人は、そう多くはありません。むしろ希少な存在かもしれません。ましてや、子供たちにそれを求めることは無理なことかもしれません。しかし、それが無理でも「良き社会人となる基礎を作る」（本校の生徒会規約の目的から抜粋）中学校時代に、せめて人の役に立ちたいなど、自分の大切さとともに他の人も大切にすることを育んで欲しいと思っています。そして自尊感情を高め、他者を尊重しながら、自己を尊重できる人になって欲しいと願っています。そのためにも私たち大人は、近い将来、子供たちが「真の大人」となるよう、子供たちにしっかりとかわり、よさを見付け、励まし、認めて褒め、可能性を広げていくという視点をもって接していきたいと思うのです。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

保護者の皆様へ

平成24年末、大阪市立高校において体罰を背景として生徒が自殺するという痛ましい事件が発生したことを受け、東京都教育委員会は昨年度同様、体罰等を見逃さず迅速に対応するために、都内の全公立学校を対象に体罰等の実態把握のための調査を行っています。

本校では12月1日に生徒に対して「暴力は絶対に許されないこと」について校長講話を行い、その後、生徒に東京都教育委員会が作成した質問紙による調査を行いました。その結果、体罰関連行為に該当する事案はございませんでした。

各御家庭においても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりするとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについて御確認の上、何かお子様について御心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるよう改めてお願いいたします。

おめでとう

社会を明るくする運動（東京都選考）優秀賞

東京厚生保護女性連盟会長賞

第3学年 高橋 結美

中学生の「税についての作文」

多摩武蔵納税貯蓄組合連合会優秀賞

第3学年 熊倉 涼香

東久留米市租税教育推進協議会会長賞

第3学年 中野 咲希

人権尊重推進月間児童・生徒作品

ポスター部門	優秀賞	第1学年	高橋 和毅	第3学年	佐藤 空
	努力賞	第3学年	中山 侑佳	第3学年	市瀬 典子
作文部門	優秀賞	第2学年	亀山 ゆうあ		
	努力賞	第2学年	栗田 花野		
標語部門	優秀賞	第2学年	白戸 穂乃花		

- 1月25日（日）から27日（火）まで、1年生はスキー移動教室に行ってきます。白銀の世界を楽しんできます。
- 1月20日（火）から22日（木）まで、2年生は職場体験です。進路を考える貴重な体験をしてきます。
- 多くの学校で入学試験が始まります。3年生には健康に気を付けて、悔いの残らないよう最後までがんばってください。